



栄小学校だより

令和7年7月16日(水) No.12

依存症に関する学習(6年)

7月9日(水)の5限目に、6年生が「ニコチン依存症や薬物依存症等の怖さ、SNSの怖さについて」の授業を受講しました。講師の先生は、学校医の渡邊正博先生(すずかこどもクリニック)です。

【以下 学習内容】

- ・たばこの成分は、全身を回る。そして、様々ながんを引き起こす。中でも、喉頭がん(タバコを吸わない人の33倍)にかかりやすい。たばこは、全身病である。
- ・たばこを吸い続けると、将来、肌に影響を与える。
- ・たばこには、ポロニウム210という放射性物質が含まれている。
- ・たばこには、発がん性物質がたくさん入っている。
- ・たばこを3本食べると死んでしまう。
- ・たばこで亡くなる人が、年間12万人いる。
- ・たばこの煙には、主流煙(喫煙者が、たばこの吸い口から直接吸い込む煙)と副流煙(火のついたたばこの先端から立ち上る煙)があり、副流煙の方が発がん性物質を多く含んでいる。
- ・受動喫煙(喫煙していない人が副流煙を吸い込む)で、年間15,000人が亡くなっている。
- ・閉め切った部屋においては、喫煙者が10本たばこを吸うと、周りにいる人は1本吸ったことになる。
- ・たばこ一箱(例)600円で1日一箱吸うとすると、年間21万9千円、10年間で219万円、50年間で1095万円かかる。
- ・依存症には、ニコチン依存症、薬物依存症、ゲーム依存症、ギャンブル依存症、アルコール依存症がある。アンケート結果から、栄小学校6年生の中に一人だけ、ゲーム依存症に該当する児童がいる。また、7人くらいの児童がゲーム依存症の一手前まで来ている。ゲームをする時間に気を付けましょう。
- ・SNSのこわさ(犯罪被害にあってしまう)。プライベートな写真は撮らない、撮らせない、送らないこと。投稿も安易にはいけない。



第2回学校運営協議会

7月11日(金)、令和7年度第2回学校運営協議会を開催しました。今年度から、文部科学省の委託事業「リーディングDXスクール事業」を天栄中学校区の全ての小中学校で受け、1人1台端末とクラウド環境を活用した授業改善に取り組んでいますので、今回は、この取組につ

いて話し合いました。

この日は、本事業に関して日頃ご指導いただいております鈴鹿市教育委員会事務局教育指導課から指導主事 鈴木貴詞様を講師に招聘し、本事業について、ご説明いただいたのち、各委員からご意見等をいただきました。委員の皆様からは、「こどもに主体性を育むためにデジタルは必要なのか」「こどもに、そんなに多くの情報は、いらないのではないか。少ない情報の中で、しっかり考えることが大事なのではないか」「デジタルを活用した画面上の他者参照は必要なのか。人の意見を面と向かって聞くことが大事なのではないか」「字を書くことが苦手な児童にとっては、キーボード入力が有効なのではないか」「発表が苦手な児童にとっては、DXを授業で活用することは有効なのではないか」等のご意見等をいただきました。

この授業では、端末を活用しながら児童が自分のペースで主体的に学び、他者と互いに協力しながら理解を深めることを目指すとともに、今までの教師主導の一斉授業（講義形式）から、こども主体の授業を目指しています。

但し、全ての授業をデジタル化するのではなく（デジタル VS アナログではなく）、デジタル ⇄ アナログの両方を活用しながらの授業形態となります。

さらには、校務 DX（授業以外の業務のデジタル化）の推進も目指しており、教員の業務効率化や働き方改革にもつなげていきたいと考えています。

野球教室（1年、2年、3年）

7月15日（火）に、1年生、2年生、3年生が、スポーツ出前授業「野球教室」を受講しました。講師の先生は、HONDA 鈴鹿硬式野球部のみなさんです。HONDA 鈴鹿硬式野球部は、この夏に開催される「第96回都市対抗野球大会」への出場が決定しています。この度は、地域での普及・育成活動の一環として栄小学校に来ていただきました。

